

民報

あばしり

NO.1127

2017.7.16

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二 四四五八  
F 四三二 四四五七

国民・市民は監視社会を許さない！

「ストップ！戦争法網走の会」

抗議の宣伝行動！



怒りを込めてスピーチする会員

共謀罪が強行された

後も、各地で抗議の声が広がり、11日は全国で集会やデモが行われました。

「ストップの会」はこの日も、会員や市民20人ほどでのぼりやプラスターを掲げ市民に訴えていました。年金者組合の西田さんは「安倍政権のもとで日本は危機的状況になっていきます。特に共謀罪は、金田法務大臣が、野党の質問に答えることが出来ない法律です。法律が施行されたら、

第2の『宮澤・レーン事件』を生み出しかねません」と共謀法の廃止を訴えています。また駒場に住む鈴木さんは「安倍政権は憲法9条を改正し、自衛隊を軍隊にしようとしています。北九州の大雨被害の救援に命がけで奮闘している自衛官を、海外の戦場に送ってはなりません。」と安倍政権の狙う憲法改悪を訴えていました。

共産党の松浦市委員長は「審議時間がわずか50時間で強行された共謀罪法は、国民がよく知らないまま今日施行されます。メールや、ラインのぞかれる監視社会は、昔の治安維持法のようなすべての国民を監視する社会になりかねません。安倍政権を倒し、新しい政治を作りましょう」と安倍政権の打倒を訴えました。「ストップの会」代



コゲラ

表の山本さんは「安倍内閣の支持率が下がっているのは、なんでも数の力で強行し、時間が経てば国民は忘れてしまおうと高をくくっている、その姿勢があるからです。国民をばかにしないでほしい。みなさん、心から反対の声をあげましょう。」と呼びかけていました。今回は22日に宣伝行動を行います。

### 松浦市奮戦メモ

先日、鉄南地区にお住まいの複数の方から「お陰さまで網小と鉄南地区を結ぶ通路が良くなりました。ありがとうございます」とお礼の言葉をいただきました。お礼の言葉をいただきましたが、地域の要求や要望を受けて実現させることも議員の仕事の一つです。

私には、先輩議員（大江さんと鈴木さん）の教えもあり、議員になって心掛けていたことは、地域をまわって要求を聞くこと、先日の通路の整備についても地域の方から情報が寄せられ現場を見て調査を行って質問したものです。お陰さまで、地域の建設会社や電機工事会社など業者のみなさんが、地域貢献活動としてご協力をいただき、とても使いやすいようになったと聞いています。これからも、地域の声を聞いて活動をしてまいりますので、情報をお寄せ下さい。

### 瀧沸湖のアオサギ



つかまえた

あっ！逃がした

大きいぞ！

ムムム...

淡水と海水が混ざり合う汽水湖の瀧沸湖には、いろいろな魚が生息しています。カメラ好きの市民から、面白くも悲しい写真とその時の様子を聞かせていただきました。

「夏日となった9日（日）に瀧沸湖の河口に行くといつも見慣れているアオサギが、じっと湖面を見ていると素早く魚を捕獲していました。しかし捕まえた魚が悪く」と写真を見せてくれました。縦長の魚ではなく『カレイ』で、その大きさは30センチはあります。カレイ好きの市民から、「アオサギは何とか食べよう」と『カレイ』を色々とくわえ直したのですが、とうとうくちばしからするりと逃がしてしまいました。湖面を見つめるその姿がなんとも悲しそうで・・・と笑いながら話していました。

### 流氷

▼赤旗しんぶんの集金でお伺いした時の事、玄関先に出てこられた読者から開口一番「嘘つき、ごまかし、やり

たい放題の安倍首相、あれ何よ！」と腹に据えかねた怒りをぶちまけられました。私も腹が立つて仕方がない安倍政権です。散々おしゃべりして少しは気の晴れたところで集金をして帰りました▼質素な生活をし、先の不安を抱えて暮らしている国民、その人たちの願いに反し政治を私物化し憲法を壊す安倍政権、何とか辞めさせたい、そのために私にできることは何だろう『そうだ土曜日の街頭宣伝に参加しよう』そう思いたちました。私たちにできる政治参加は①選挙で自分の思いを代弁してくれる人を選ぶ②署名で意思を託すなどありますが声の宣伝は多くの人に党の考えや自分の気持ちを伝えることができます▼先日の街頭宣伝に参加した私は「アベ政治許さない」と大きく書いたポスターを道行く人によく見えるように胸の前に持って立ちました。マイクから流れる松浦市議の訴えにも力が入ります。道行く人は知らぬふりで通り過ぎる人も多いのですがきつと心の中では「そうだね」と共感してくれる人もいます。前5月、戦争法案成立を止めようとして全国で様々な行動が広がり、守れとデモをし宣伝行動をしました。それ以来戦争法廃止まで街頭宣伝は続きます。(U)